

## 4 文化・科学技術・スポーツ

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02総務費	02企画費	02計画調査費	528,690
一般	05労働費	01労政費	01労政総務費	※ 5,124,130
一般	07商工費	02工鉱業費	01工鉱業総務費	※ 597
一般	07商工費	02工鉱業費	02中小企業振興費	1,489,251
一般	07商工費	02工鉱業費	05工業技術センター費	162,757
一般	07商工費	03観光費	01観光費	※ 1,113,943
一般	08土木費	02道路橋りょう費	03道路新設改良費	※ 18,825,514
一般	08土木費	04港湾費	02港湾建設費	※ 2,515,323
一般	08土木費	05都市計画費	03公園費	※ 3,098,951
一般	10教育費	06社会教育費	03文化及び文化財費	496,884
一般	10教育費	06社会教育費	04文化の森総合公園文化施設費	612,074
一般	10教育費	06社会教育費	05郷土文化会館運営費	140,707
一般	10教育費	06社会教育費	06子ども科学館費	369,158
一般	10教育費	06社会教育費	07文学書道館運営費	168,428
一般	10教育費	07保健体育費	02体育振興費	820,349
特別	01中小企業・雇用対 策事業費	01中小企業・雇用対 策事業費	01中小企業・雇用対策事業費	103,521,734

### 1 文化の振興

#### 1 芸術文化活動の充実（とくしま文化振興課，教育文化政策課，文化の森振興本部）

##### 1(1) 文化・芸術活動の創造・発表・鑑賞機会の充実

##### ア 芸術文化鑑賞機会の充実

とくしまきり芸術文化事業や文化庁事業の実施，クラシックコンサートの開催等により，県民が優れた芸術文化に触れる機会の充実を図った。

- 徳島県児童演劇地方巡回公演 2公演
- 文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－ 36公演
- クラシック音楽演奏会 13公演

#### イ 徳島県民文化祭事業

県民一人ひとりの幅広い文化活動への参画を促進することにより、地域の文化振興と県民の誇りや心豊かな暮らしの創出を図るため、フラメンコ公演や分野別フェスティバル等を実施した。

#### ウ 地域の文化振興事業の推進

県内の芸術文化団体等と連携を密にして、学校への芸術家派遣事業などで活用を図った。

また、県内の文化団体を県外へ派遣することにより、県外文化団体との交流促進や地域文化の活性化を図るとともに「あわ文化」の魅力を発信した。

#### エ 顕彰制度の充実

○ 県文化賞の贈呈 受賞者 吉成 正一

○ 阿波文化創造賞の贈呈 受賞者 蔦 哲一朗

### 1(2) 文化施設の整備充実

#### ア あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）の充実

人形浄瑠璃フェスティバル等の文化事業を実施するとともに、ホールや展示室等を県民の利用に供した。

○ あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）利用者数 393,850人

#### イ 文学書道館の充実

文学及び書道の特別展や教育普及事業等を実施するとともに、展示室や講座室等を県民の利用に供した。また、文学書道資料の調査研究、収集・整理に取り組んだ。

○ 文学書道館利用者数 41,225人

#### ウ 阿波十郎兵衛屋敷の充実

阿波人形浄瑠璃振興の中核施設として、定期上演等を行うとともに、展示室や母屋等を県民の利用に供した。

○ 阿波十郎兵衛屋敷利用者数 26,412人

### 1(3) 文化情報の提供手段の充実

#### ア 文化情報ネットワークの推進

文化の森各館所蔵資料データベースの充実、データベースの利用普及、各種文化情報の提供等を行った。

データベースの入力状況（平成27年3月末現在）

データベースの種類	入力件数（件）
書誌データベース	1,440,766
博物館データベース	530,327
美術館データベース	67,882
文書館データベース	234,400
計	2,273,375

## 2 徳島の文化の担い手づくりの推進（とくしま文化振興課）

### 2(1) 文化団体の育成，指導者の養成

二度にわたる国民文化祭の開催により高まった文化振興の機運を継続させ，文化資源の活用による「人材の育成」，「あわ文化の継承・発展」，「地域の活性化」に取り組む市町村，文化団体等に対して助成した。

- 次世代・後継者育成事業 12件 3,350千円
- 国文祭成果継承事業 29件 11,460千円
- 地域活性化支援事業 2件 1,400千円

### 2(2) 文化の担い手の養成

演奏会の出演者等に講師を依頼し実技指導の場を設けるなど，文化の担い手の養成を図った。

## 3 文化を育む環境づくりの推進（とくしま文化振興課）

### 3(1) 創造環境の充実整備

#### ア 公益財団法人徳島県文化振興財団の文化事業

県民の幅広い文化活動を支援し，新しい県民文化の創造と発展に寄与するため，公益財団法人徳島県文化振興財団の平成26年度事業として，自主事業2件，共催事業2件，補助事業9件を行った。

#### イ 「あわ文化」の創造と発信

参加体験型文化イベント「あわ文化学校」や「親子でワクワク！あわ文化はじめてツアー」をはじめ，「阿波藍×未来形プロジェクト」，「とくしま記念オーケストラ第3回定期演奏会」，あわ文化情報誌「あおあお」の発行などにより，「あわ文化」の魅力を国内外に発信した。

### 3(2) 「とくしま文化の日」の推進

平成25年3月に制定された「とくしま文化の日を定める条例」の趣旨を広く県民に普及させるため，「とくしま文化の日」及び「とくしま文化推進期間」において，文化関係施設の常設展観覧料を無料とする日を設けるほか，県文化賞の贈呈式を行うなど，条例制定の趣旨にふさわしい取組を行った。

- とくしま文化の日 毎年11月第2日曜日
- とくしま文化推進期間 毎年11月3日から同月第3日曜日まで

## 4 学校における文化・芸術活動の推進（教育文化政策課）

### 4(1) 学校における文化活動の振興

ア 県高等学校文化連盟へ活動費補助金を交付し，文化活動の活性化を図った。

イ 文部科学省や文化庁の事業を活用し，学校に芸術家等を派遣し，講話や実技披露を行った。

- 文化芸術による子供の育成事業－芸術家の派遣事業－ 26校

ウ 「ふるさと文化人材バンク」を活用し，学校にあわ文化に関する外部人材を講師として派遣した。  
26校

#### 4(2) 全国高等学校総合文化祭派遣事業

##### ア 第38回全国高等学校総合文化祭（茨城大会）への派遣

平成26年7月27日から7月31日までの5日間、開催地茨城県へ15部門16校生徒136人を派遣した。

#### 4(3) 近畿高等学校総合文化祭派遣事業

##### ア 第34回近畿高等学校総合文化祭（福井大会）への派遣

平成26年11月7日から11月16日までの10日間、開催地福井県へ14部門19校生徒177人を派遣した。

#### 4(4) ふるさと発見！あわっ子文化大使育成プロジェクト

##### ア 中学校モデル事業

県立3中学校を含む25校の公立中学校の1年生及び、県立3中学校の2年生を対象に、あわ文化教育を実施し、34名の「あわっ子文化大使」が誕生した。

##### イ あわ文化教育体系化事業

平成27年度より公立全中学校で活用できる、あわ文化の教材集及び教師用ハンドブックを作成するために、あわ文化教育体系化検討委員会で検討を進めた。

#### 4(5) 音楽文化地域発信事業

芸術科創設45年の伝統を持つ名西高等学校において、プロの芸術家によるスキルアップ講習を実施した。

### 5 文化の森総合公園の整備・充実（文化の森振興本部）

#### 5(1) 積極的な資料収集と魅力ある常設展示や企画展の開催などを通じた普及・文化活動の充実

各文化施設の維持管理、運営に努めるとともに、美術品等の取得を行い資料の充実を図った。また、各館において、様々な企画事業を開催するとともに、各種普及事業を実施し、県民文化の振興に努めた。

##### ○ 文化の森総合公園入館者数

施設 年度	図書館	博物館	近代 美術館	文書館	21世紀館	鳥居龍蔵 記念博物館	合計
平成26年度	人 431,537	人 93,423	人 89,312	人 36,221	人 92,515	人 21,641	人 709,798

（注）「合計」は、共催等による重複調整を行っているため、各館の合計とは一致しない。

#### 5(2) 県立近代美術館サテライト・ギャラリー事業

県庁11階の「県庁ギャラリー」、県庁1階の県民サービスセンター、県立病院（三好・海部）、西部総合県民局（美馬庁舎・三好庁舎）及び南部総合県民局（阿南庁舎）にサテライト・ギャラリーを設け、県民の憩い・癒しの場を形成することで地域活性化に努めた。

## 2 歴史・文化の継承と活用

### 1 文化財調査の促進（教育文化政策課）

#### 1(1) 埋蔵文化財の所在調査

##### ア 発掘調査

四国横断自動車道（阿南～徳島東）関連事業等に伴う埋蔵文化財の発掘調査など5遺跡（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

##### イ 出土品整理

四国横断自動車道（徳島～鳴門）関連事業等に伴う埋蔵文化財の出土資料整理など6遺跡（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

#### 1(2) 天然記念物の調査

四国山地カモシカ通常調査 県内8市町（旧12市町村域）における、生息環境、生息状況、生息密度、DNA分析調査及び食害調査等の実施

### 2 文化財の保護管理（教育文化政策課）

#### 2(1) 文化財の指定

##### ア 徳島県文化財保護審議会の運営

##### イ 文化財の指定等

種別	名称	所在地	所有者又は所持者及び管理者	指定又は登録年月日
無形民俗文化財	阿波木偶「三番叟まわし」	徳島市国府町芝原字神楽免158	阿波木偶箱まわし保存会	平成27.2.12

#### 2(2) 指定文化財管理

##### ア 文化財パトロール事業の実施

文化財巡視員（非常勤特別職）による指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の点検を行った。

##### イ 指定文化財の小修理、環境整備事業の実施

##### ウ 指定文化財の防災設備等の保守点検の実施

### 3 文化財の保存整備活用（教育文化政策課）

#### 3(1) 文化財の保存整備活用

##### ア 重要文化財等の保存修理

(ア) 国選定「美馬市脇町南町」重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業の実施

(イ) 国選定「三好市東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区対策事業の実施

(ウ) 国指定「田中家住宅」保存修理事業の実施

(エ) 国指定「犬飼の舞台」保存修理事業の実施

#### イ 史跡の整備活用

##### (7) 守護町勝瑞遺跡支援事業の実施

#### ウ 文化的景観保護推進事業の実施

上勝町が実施する重要文化的景観「檜原の棚田及び農村景観」保存修理を支援した。

### 3(2) 文化財情報の発信

#### ア 文化財PR資料の作成

##### (7) 「2014発掘とくしま」パンフレットの刊行

##### (4) 文化財保護強調ポスターの印刷、配付

#### イ 展示会開催等

##### (7) 「2014発掘とくしま」の開催

- 速報展 平成26年6月10日～7月20日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
- 調査成果報告会 平成26年6月29日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
- 調査成果報告会・講演会 平成26年7月13日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
- おもしろ古代体験 平成26年7月6日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

## 4 文化財の愛護思想の高揚（教育文化政策課）

### 4(1) 文化財の人材育成

#### ア 養成講座・研修会等の実施

##### (7) 文化財指導者講習会の開催

平成26年11月17日，文化財関係者106人の参加を得て実施

##### (4) 市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会の開催

平成26年11月21日，平成27年2月27日開催

### 4(2) 郷土文化教育の推進

#### ア 埋蔵文化財を活用した学校教育の支援

校外行事等による徳島県立埋蔵文化財総合センターの活用や，移動教材・出前事業等の実施により学校教育へ積極的な支援を行った。

## 5 歴史・文化の情報収集（文化の森振興本部）

### 5(1) 本県の歴史・文化に関する情報、資料の収集

県立博物館及び県立文書館において，歴史的文化的価値を有する資料の積極的な収集を行った。

## 6 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録の推進（総合政策課，教育文化政策課）

四国の産学民官89団体で組織する「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会において，資産の保護手法や普遍的価値の証明方法について検討を行うとともに，四国4県が連携して「四国における文化的景観候補地選定調査」を行った。本県においては第12番札所「焼山寺」周辺の遍路道の

詳細調査等を行った。

また、次期国史跡指定を目指す「雲辺寺道」と「八坂八浜」において、地元教育委員会・民間ボランティア団体と連携してウォーキングイベントを開催し、遍路道の魅力をPRした。

さらに、次代を担う若年層を対象に、アニメ「おへんろ。」を活用したワークショップを開催した。

### 3 科学技術の振興

#### 1 科学技術振興計画の推進（新産業戦略課）

##### 1(1) 科学技術振興計画の推進

「徳島県科学技術振興計画（平成26年3月改定）」に基づき、戦略的推進分野である「ヘルステクノロジー」「LEDテクノロジー」「フードテクノロジー」「エネルギーテクノロジー」「ロボットテクノロジー」をターゲットに科学技術振興施策を推進した。

#### 2 科学技術を担う人づくり（新産業戦略課、にぎわいづくり課）

##### 2(1) 表彰制度等を通じた人材の育成・確保

本県の科学技術を支える優れた人材の育成・確保を図るため、国の表彰制度を活用し、技術者等の科学技術振興に対する意識の高揚と意欲の増進を図った。

##### 2(2) あすたむらんど（子ども科学館）の管理運営

未来を担う子ども達が、遊びや体験を通じて科学する心や姿勢を培い、豊かな心を育てるあすたむらんど（子ども科学館）の適正な管理運営を行うとともに、企画展など様々な事業を実施し、創造性豊かな青少年の育成に貢献した。

#### 3 研究開発基盤の充実（新産業戦略課、工業技術センター）

##### 3(1) 技術シーズ創出調査事業

県内企業の新製品開発や新事業の創出を図るため、提案公募型研究開発事業実施に向けて、必要なデータ収集等のための予備的な共同研究4件を実施した。（7,955千円）

### 4 スポーツ・レクリエーションの振興

#### 1 生涯スポーツ活動の推進（県民スポーツ課）

##### 1(1) 総合型地域スポーツクラブ運営力向上事業

各地域に創設されている総合型地域スポーツクラブに対して、人材育成、クラブ間のネットワークづくり等の多面的な支援を行い、機能強化を図ることにより、地域住民が「総合型地域スポーツクラブ」を大いに活用できるよう基盤整備を行った。平成26年度までに34クラブが設立された。

事業内容	実績
スポーツメイト促進事業	とくしまスポーツすだつネット登録者数：295名 ロコモティブシンドローム予防講座：1回 参加者数115名 スポーツボランティア発掘・養成：1回 参加者数：34名
クラブネットワーク支援事業	会議：9回 参加者数：118名 交流大会：2回 参加者数：408名 全国交流大会：1回 参加者数：181名
クラブマネジャー養成講習会	回数：3回 受講者数：10名 修了者数：10名
ブラッシュアップセミナー	回数：2回 参加者数：57名
スポーツ指導者派遣事業	キッズスポーツインストラクター等，子どものスポーツ指導者を総合型クラブに派遣： 10クラブ，計117回
広報・啓発事業	新規創設検討クラブ打合せ等への参加 1回 設立準備クラブへの指導・助言 16回 県内総合型地域スポーツクラブ活動紹介パネル作成
事務局運営	全国広域スポーツセンター連絡協議会，研修会等への参加及び情報収集

## 1(2) スポーツ健康づくり実践モデル事業

ア みんなでつくろう！健康とくしま県民会議「運動と健康づくり専門部会」の開催

運動や身体活動を活用した健康づくりについて協議した。

第1回：平成26年8月25日 第2回：平成27年3月9日

イ 中高年・高齢者の健康寿命フォローアップ事業

生活習慣病予防や高齢者の疾病予防に関する定期的な事業を実施する総合型地域スポーツクラブに対して一部指導者等の派遣を行った。

実施クラブ	所在地	実施会場	回数	参加者数
海陽愛♥あいクラブ	海陽町	海陽町海南B&G海洋センター	12回	257名
R e x なかがわ	阿南市	那賀川スポーツセンター	12回	192名
みなと小松島スポーツクラブ	小松島市	小松島市勤労青少年ホーム	12回	164名

実施日：平成26年9月から平成26年12月まで（各12回）

ウ 中高年・高齢者のロコモ予防実践モデル事業

「ロコモ」を予防することにより，運動習慣の定着や食生活の改善など個々の行動変容が期待できるとともに，将来的な介護予防や健康寿命の延伸に寄与すると考えられる。

そこで，総合型地域スポーツクラブにおいて大学や地域の保健医療分野と連携したロコモ予防のモデル事業を実施し，県民の健康づくりの推進を図った。

実施クラブ	所在地	実施会場	回数	参加者数
くらぶつるぎっこ	つるぎ町	就業改善センター	15回	143名
上板ふれあいクラブ	上板町	上板町ITセンター	15回	186名
いけだスポーツクラブ	三好市	三好市池田総合体育館	15回	320名

エ 高齢者のスポーツリーダー養成事業

高齢者自らが、地域のスポーツリーダーとして高齢者の体力や健康の保持増進を図るため、気軽に取り組めるニュースポーツ等の指導者講習会を開催した。

実施種目	所在地	実施会場	回数	参加者数
グラウンド・ゴルフ	美波町	美波町日和佐グラウンド	1回	111名
囲碁ボール	鳴門市	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール	1回	66名
パークゴルフ	つるぎ町	つるぎ町吉野川河川敷公園	1回	89名

1(3) チャレンジスポーツ推進事業

市町村と総合型クラブがタイアップし、様々な活動を行うことで、地域の活性化につなげるとともに、スポーツ実施率の向上を支援した。

事業実施団体	事業内容	参加者数
いしいスポーツクラブ	ランニング&体幹トレーニング講座	113名
えのみや睦会	シニア体力アップ教室Part2	451名
R e x なかがわ	スポーツいきいき交流大会（兼総合型クラブ交流大会）	272名
(一社) NICE	アロハな気分で！地域いきいき多世代交流ハワイアンフラ教室	257名
	参加人数合計	1,093名

1(4) 徳島県メディカルフィットネス推進プロジェクト（文部科学省委託事業）

ア 「健康づくりのための運動・スポーツ教室」の実施

県民の持続可能な健康づくり対策を検討するために、徳島県、大学、企業の人材および施設を活用し、徳島県下の3つの総合型地域スポーツクラブ（県東・県西・県南）による健康づくりのための運動・スポーツプログラムの開発・実践・評価を行った。

イ 「健康づくりのための運動・スポーツ啓発フォーラム」の開催

本プロジェクトの成果（課題）を総合型地域スポーツクラブをはじめとした各種地域スポーツ関係者等に広く情報発信するとともに、超高齢社会に対応した健康づくり方策について考えるフォーラムを開催した。

1(5) とくしまスポーツSHOWデー推進事業

スポーツを「する」「観る」「支える」といった多様なスポーツ振興の仕組みを創るため、県民スポンサー事業として、企業及び団体からの協賛金により、スポーツイベントへの助成、情報発信などを行った。

事業名	期 日	内 容	参加人数等
とくしまスポーツSHOWデー助成事業	4月～3月	23件のスポーツイベントへの助成	14,015名
スポーツの魅力発信事業	8月～3月	小・中学生を対象にしたスポーツ絵画コンクールの実施及び作品展示	788件の応募
スポーツSHOWデー応援事業	4月～3月	スポーツ大会に出場する選手やチームに対する横断幕・メガホン・幟等の貸出	23件
ファミスポSHOWカーニバルの開催	11月30日	気軽に家族で参加できるスポーツイベントの開催	約10,000名
「とくしまスポーツSHOWデー・ステーションサイト」及び「スポーツ王国とくしま公式フェイスブック」の運営	4月～3月	本県のスポーツ情報を総合的に発信するポータルサイト及びフェイスブックの運営	総アクセス数 359,052件

#### 1(6) 自転車王国とくしまブランド発信事業

サイクルスポーツを通じた新しい魅力を創り出すとともに、県内のサイクルイベントの充実と継続的な開催を図り、県民の運動実施率向上や健康増進、観光・文化の振興、環境対策などに繋がる方策等を検討し、サイクルスポーツ先進県を目指した。

事業名	期 日	内 容	参加人数等
自転車利用促進協議会の開催	7月・3月	既存のサイクルイベント等の検証、「自転車王国とくしま」の推進方策などを検討	会議 2回
「自転車王国とくしま」サイクルイベントの開催支援	5月～11月	四国の右下ロードライドイベントほか3イベントの開催を支援	参加申込者数2,315名 参加者数 2,092名
コース拠点の充実	9月～2月	自転車王国とくしま及び徳島自転車Tラインのコース拠点施設にアンケート調査を実施するとともに、「メンテナンス工具セット」を整備	配備箇所 7カ所
自転車王国とくしまブランド発信力向上事業	5月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニガイドツーリングの実施</li> <li>・子ども向けイベントの開催</li> <li>・著内なサイクリスト招へい</li> <li>・HP(ブログ)による情報発信</li> </ul>	ツーリング回数 8回 イベント回数 3回
自転車王国とくしまグッズの貸出	6月～3月	のぼり旗やキックバイクなどのグッズの貸出	貸出 8件

#### 1(7) 国際スポーツ大会キャンプ地等誘致推進事業

2019年開催のラグビーワールドカップ及び2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地並びに2021年開催の関西ワールドマスターズゲームズの開催地の誘致に向け、それぞれ求めら

れるニーズを整理した上で、市町村及び県内競技団体等に対して、アンケート調査を実施し、誘致対象候補となる競技施設等の取りまとめを行った。

## 2 指導者の養成と活用（県民スポーツ課）

### 2(1) 目指せ！オリンピック・夢はぐくみ事業

子ども達のスポーツへの関心を高め、将来のスポーツ振興につなげる動機づけとするため、子どもやその保護者・指導者を対象とした有名スポーツ選手等によるスポーツ講習会を実施した。

講習会名	期日	会場	人数	内容
「淡路・徳島交流少年野球大会、阪神タイガース現役選手による少年野球教室」	H26. 12. 13 ～12. 14	兵庫県 淡路市	646名	プロ野球選手による野球教室及び交流試合
「三宅宏美ウエイトリフティング講習会」	H26. 12. 25	徳島科学 技術高等 学校	50名	ロンドンオリンピックで銀メダルを獲得された三宅宏美選手による実技指導及び講義

### 2(2) 多様なスポーツニーズに対応した指導者の養成及び受入

#### ア スポーツ少年団リーダーの育成

事業名	期日	会場	人数	内容
第41回日独スポーツ少年団同時交流	H26. 8. 2～8. 6	石井町	11名	スポーツによる国際交流（リーダー受入）

## 3 施設・設備の整備拡充（都市計画課、運輸政策課）

### 3(1) 公園整備事業費

#### ア 南部健康運動公園

大規模災害時には、広域応援部隊が円滑に活動するための巡回路として、また、平時には、クロスカントリーコースとして利用できる園路の整備を推進した。

#### イ 鳴門・大塚スポーツパーク（鳴門総合運動公園）

ポカリスエットスタジアム（陸上競技場）において、耐震改修を完了するとともに、施設の利便性を向上するため、諸室の改修を推進した。

#### ウ 西部健康防災公園

平時の健康増進と災害時の防災拠点機能を担う「リバーシブルな公園」の整備に向け、基本構想を策定した。

### 3(2) 橘港公共用地レクリエーション施設用地の整備

ソフトボール場等の整備の進捗を図った。

#### 4 競技力の向上（県民スポーツ課，体育学校安全課）

##### 4(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力の維持向上に努めるとともに，広く県民にスポーツに対する関心を定着させ，将来にわたり本県スポーツの充実発展を期するため次の事業を実施した。

##### ア 競技スポーツ重点強化対策事業

小学校においては，スポーツ人口の増大や優秀な能力をもった選手の発掘と才能の伸長を図り，中学校・高等学校では，県外の競技水準の高い学校との練習試合や強化合宿を実施することにより，運動部活動の活性化と競技力の向上に努めた。

また，競技スポーツの重点的強化を図るため，競技団体の選手強化策を支援した。

##### ○ 国体重点強化枠（成果指向型の重点強化）

過去2年間の国体で入賞実績のある20競技団体を指定し，候補選手を対象に，遠征合宿等を実施。

##### ○ 国体直前強化枠

四国ブロック予選を突破した19競技団体に直前強化を実施。

##### イ 競技力向上スポーツ指定校ステップアップ事業

スポーツ指定校に優秀選手の集中化を進め，指導者の適正配置を行うとともに，遠征・合宿等の強化活動費を助成することにより，インターハイや国体等の全国大会での活躍ができるよう支援した。

##### ウ スポーツ医科学推進事業

##### ○ 医科学サポート

国体選手等を対象に，スポーツドクターやトレーナーによる選手のコンディションケアなどの支援事業を行った。

##### ○ スポーツ安全保険加入

傷害事故に備え，国体候補選手をスポーツ安全保険に加入させた。

##### ○ フィジカルチェック

選手の体力・運動能力を測定し，スポーツ医科学による指導を実施した。

##### 4(2) 国民体育大会派遣事業

大会名	会場	競技	役員	監督等	選手	計(人)
第69回大会	東京都	陸上他30	35	36	249	320
第70回冬季大会	山形県他	スキー他1	8	2	13	23
第35回四国ブロック大会	徳島県他	サッカー他30	28	72	595	695
合計			71	110	857	1,038

##### 4(3) 徳島育ち競技力向上プロジェクト

県出身の競技者が全国大会や国際大会で活躍できるよう，ジュニア期から優れた素質を有する競技

者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システムの構築」と「トップ指導者の養成」を継続的に行い、県内の競技レベルの向上とスポーツ振興を図るため、競技団体から提案された事業に対し助成を行った。

団体名	期 日	会 場	事業内容
一般社団法人徳島県サッカー協会他22団体	6月～2月	徳島市 鳴門市 他 板野町	一貫指導推進委員会の運営と育成プログラムの実施 (強化練習会, 指導者講習会, 遠征・合宿等)

## 5 学校スポーツ活動の活性化 (体育学校安全課)

### 5(1) 地域スポーツ人材の活用実践支援事業

#### ア 外部指導者の活用

中・高等学校の運動部活動の活性化を図るため、57人(中学校39校40人, 高等学校14校17人)の外部指導者を派遣するとともに、外部指導者及び運動部活動顧問に対する研修会を開催した。

### 5(2) 子どもの体力向上指導者養成研修事業

子どもの体力を高めるための学習指導の在り方等について、指導者としての必要な知識や技術の習得を図るために4人(小学校2人, 中学校1人, 高等学校1人)の教員を派遣した。

#### ア 全体会 「子どもたちの体力向上を図るための指導者の役割」

「適切かつ効果的な運動部活動の推進について」

#### イ 班別学習

・講義, 演習「指導と評価の一本化に向けた学習指導の在り方」

## 6 プロスポーツによるにぎわいの創出 (観光政策課, にぎわいづくり課)

### 6(1) 徳島ヴォルティスJ1昇格おもてなし事業

J1に昇格した徳島ヴォルティスが大いに活躍し定着できるようサポートするとともに、試合前後の渋滞緩和や観光・宿泊などの環境整備を図った。

### 6(2) J1サポーター観光誘客事業

徳島ヴォルティスのJ1昇格を活かし、観光誘客, 宿泊促進を図るため、アウェイサポーター向けのウェブサイトの開設やアウェイゲーム等での観光物産PRを実施した。

### 6(3) エンジョイ☆プロスポーツ事業

プロスポーツチームの集客力や情報発信力を活用し、本県のPRやスポーツ文化の振興等、本県のにぎわい創出につながる施策を実施した。